

事業実績シート

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成 28 年度国際交流支援事業 国際人育成事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	対馬市	観光交流商工部 文化交流・自然共生課	阿比留 崇徳	0920-53-6111
事業期間	開始年	平成 24 年 4 月 1 日 (5 年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日) 平成 28 年 4 月 1 日 (完了日) 平成 29 年 3 月 31 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	対馬市民		国際交流活動、国際協力活動又は多文化共生活動を通して、韓国及び韓国文化等に対する理解を深めていただくとともに、国際感覚の醸成を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人対馬市国際交流協会(以下「協会」)が対馬市から補助金の交付を受けて実施。 ・事業の実施と支給に関しては、協会が認めた団体(以下「認定団体」)若しくは協会が委託する旅行会社(「委託会社」)が行う。 ・補助の対象は、対馬市民及び対馬市民が組織する国際交流、国際協力、経済交流の開拓を推進する認定団体で次の事業に参加する者をいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①個人の場合は、協会若しくは委託会社が企画する韓国文化体験旅行に参加された方。 ②認定団体が韓国で実施する交流事業。 ③認定団体が5名以上で行う韓国の団体との文化・スポーツ交流事業。 ・補助金は予算の範囲内とし、①②については、1人あたり5千円とする。 ③については、1人2万円を上限とし助成。1団体の上限を20万円とする。 ・交流回数については原則1回であるが、協会が認める場合に限り最大3回とする。 			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 対馬釜山間の国際航路利用について、韓国人の利用者が6万人に対して、対馬市の利用者が1千人と低い利用状況のため、この助成事業を構築することにより、対馬市民が韓国内での国際交流活動、国際協力活動等を行うことで、国際感覚の醸成を図ることを目的とする。			

事業実績シート

(経緯・現状)

対馬釜山間の国際航路利用状況

平成 28 年－韓国人：259,815 人	日本人：2,080 人
平成 27 年－韓国人：213,676 人	日本人：1,577 人
平成 26 年－韓国人：194,032 人	日本人：1,949 人
平成 25 年－韓国人：181,812 人	日本人：2,539 人

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		735,000 円	785,000 円	1,360,000				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	588,000 円	628,000 円	1,088,000				
	一般財源	147,000 円	157,000 円	272,000				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	交流人口の拡大	出国者数の増加を図る		目標	2,200	2,200	2,200
					実績	1,949	1,577	2,080
					目標達成率 (%)	86%	71%	95%
	②				目標			
					実績			
					目標達成率 (%)			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等)	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		今年度から、新たに文化・スポーツ交流事業を行う団体に対して2万円/人の助成を行ったことで数組の団体が交流事業を行った。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 対馬市民に対して、周知活動を行う。		
実施予定 期 日	H29			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		対馬市から一般財団法人対馬市国際交流協会へ補助金として事業実施をしており、事業内容も委託会社への助成金の支給が主な事業ではあるが、本事業の趣旨が交流人口拡大であるため、一般財団法人対馬市国際交流協会での事業実施が適切であると判断される。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		事業の趣旨が韓国への渡航助成であることから、受益者(対馬市民)への負担は発生しない。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合
実施予定時期					<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	対馬市民への周知を徹底し、当該助成制度を積極的に活用してもらい、国際交流活動、国際協力活動又は多文化共生活動を通して、韓国及び韓国文化等に対する理解を深めていただくとともに、国際感覚の醸成を図る。				